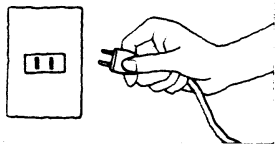


## 1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

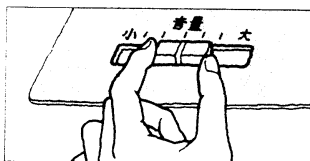


## 2. 電源スイッチを入れます。



音色スイッチの“オルガン”のランプが点灯します。

## 3. 音量コントロールのレバーをセットします。



エクスプレッションペダル使用時の最大音量を決めるレバーです。通常は中央の位置にセットします。

## 4. 音色をセットします。

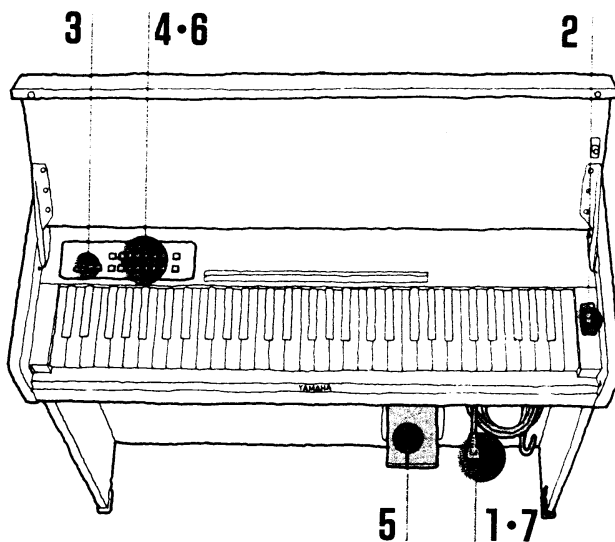
14種類の音色の中から、好きな音色を選んでスイッチを押して下さい。なお、フルート・オーボエ・クラリネット・バス1・バス2・ホルン・ストリング・コントラバス1の音色を選ぶと、自動的にビブラートスイッチがONになります。ビブラートを不要の場合は、ビブラートスイッチを押してOFFにします。



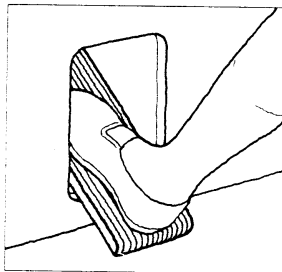
※コントラバス1と2の音色は、音域が自動的に1オクターブ低くなります。

# 学校用オルガン SE-2000 操作カード

(鍵盤蓋の裏側に貼りつけてご覧下さい。)



## 5. エクスプレッションペダルを踏み込んで演奏を始めます。

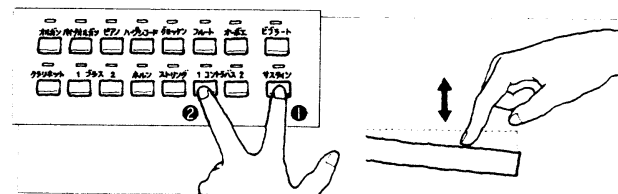


踏み込む深さによって音量をコントロールします。ペダルは踏み込んだ位置で止まりますので、足を離すと一定の音量が保てます。また、演奏しながらペダルを操作し、音に強弱をつけることもできます。

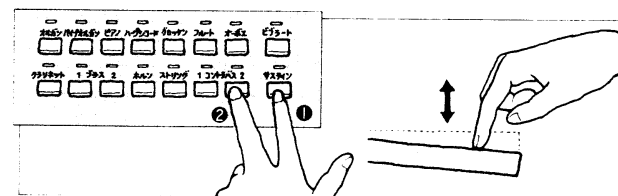
## 6. ピッチを合わせたい場合は。

(1)合わせたい音色(※持続音の方が合わせやすいです)を選んで、ビブラートをOFFの状態にします。

(2)ピッチを下げる時は、まず①サスティンスイッチを押し、次に②コントラバス1のスイッチを押します。この2つのスイッチを押さえたままの状態、合わせたい音程の鍵盤を繰り返し押しすと、鍵盤を押す毎に少しずつピッチが下がります。



3ピッチを上げる時は、まず①サスティンスイッチを押し、次に②コントラバス2のスイッチを押します。この2つのスイッチを押さえたままの状態、合わせたい音程の鍵盤を繰り返し押しすと、鍵盤を押す毎に少しずつピッチが上がります。



4ピッチを元の状態に戻すときは、サスティン、コントラバス1、コントラバス2のスイッチを同時に押します。

※電源を切るとピッチは元の状態に戻ります。

## 7. 片づける時は。

電源スイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜きます。コードは巻いてコードかけにかけます。